

平成 30 年 2 月 1 日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

国内最大規模の私募インフラファンド組成について

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 兼 最高経営責任者長岡 孝、以下「当社」)は、パシフィコ・エナジー株式会社(代表取締役社長 ネーサン・フランクリン、以下「PEK」)が組成する太陽光発電事業向けの第 1 号ファンド(以下「本ファンド」)について単独フィナンシャル・アドバイザー兼私募取扱業者を務めましたので、お知らせいたします。

当社は、本ファンドが太陽光発電事業を取得する枠組みを構築し、国内の機関投資家から約 155 億円の出資金を集めました。本ファンドは日本国内の発電所 5 件、計約 100 メガワット(資産規模で 420 億円超)で構成され、この度、宮城県と千葉県の計 3 件の発電所について本ファンドへの組入れを完了いたしました。残り 2 件の発電所も順次組入れを進めて参ります。また本年中を目指して第 2 号ファンドの組成も検討しております。

PEK は、グループ会社を通じ無限責任組員として本ファンドへ投資するとともに、自らがアセット・マネージャーとして各発電所の運転保守管理に携わります。PEK は、自社で開発及び建設する案件、並びに他社開発案件からなる再生可能エネルギーファンドの組成を積極的に進め、今後 2 年間で合計 1 ギガワット 1,500 億円規模の私募ファンドの組成、アセット・マネジメント業務の受託を目標に掲げています。

当社は、これまでの各種ファンド組成の経験を活かし、今後もエネルギー、インフラ事業を組入れ資産とした、ファンドの組成業務及び投資家の募集業務を進めて参ります。エネルギー・インフラ事業の金融商品化を通じて、PRI(責任投資原則)に基づく ESG(環境・社会・ガバナンス)の観点からの新たな投資機会を創出すると共に、リスク分散及び長期安定運用という観点からインフラセクターに対する機関投資家の強い投資ニーズに応じて参ります。

発電所の概要

① パシフィコ・エナジー古川メガソーラー発電所

所在地 宮城県大崎市

パネル出力 約 56.87MWdc

売電開始日 2016年12月15日



② 春日キャピタル富津東太陽光発電所・春日キャピタル富津西太陽光発電所

所在地 千葉県富津市

パネル出力 約 3.32MWdc

売電開始日 東) 2014年6月4日、西) 2014年6月5日



③ 春日キャピタル五十土東太陽光発電所・春日キャピタル五十土西太陽光発電所

所在地 千葉県千葉市

パネル出力 約 4.01MWdc

売電開始日 東) 2015年7月21日、西) 2015年3月20日



以 上